



遊びの中の学び

1月17日の13時30分頃。「ドンドンドン」と地鳴りのような音と子どもたちの歓声が体育館に鳴り響きました。愛媛県文化振興財団の御協力を得て行った「どんどこ！ 巨大紙相撲」です。活動はその名のとおり。段ボールで作った人物大の力士を土俵で戦わせるものですが、取組（試合）までには様々なプロセスがありました。

まず、12月に全校児童を6チームに編制しました。チームのメンバーは、バランスを考え、低学年から高学年までの児童5、6人で構成されています。1チームで1体の力士の名前やデザイン、特徴などを考えました。なかなか決まらないことがあれば、高学年がリーダーシップを発揮してチームの話し合いをまとめました。

17日の午前中は、各チームで力士を制作しました。段ボールに下絵を描き、カッターで切り取り、ペンやテープを使って着色します。自分たちのイメージ図を基にして、工夫しながら丁寧に仕上げていきました。楽しい雰囲気の中にも、チームのメンバーが協力しながら目標を達成しようと、粘り強く取り組んでいる双岩っ子の姿が。そして、力士が完成し、いよいよ双岩小場所の開幕です。講師の先生に取組（試合）をリードしていただきながら、呼び出し（法被を着た教員）が「ひが～し～〇〇や～ま～、に～し～〇〇や～ま～」と力士を紹介した後、行司（軍配を片手に法被を着て、烏帽子を被った教員）の「はっけよい！」とともに、チームが一丸となり勝利を目指して、一心不乱に木製の土俵を叩きます。叩いても勝敗がつきにくい場合は、水入り（一時中断）の場面も。本格的な相撲のルールと同じです。勝ったチームは手をさすりながら大喜び。負けたチームは土俵にもたれかかり、うなだれる姿も見られました。活動後の感想発表では、「楽しかった。」「勝ってうれしかった。」などの声が多く聞こえましたが、ただ遊んだだけで終わったわけではありません。

人間は、豊かな社会生活を送るために「非認知能力」が必要です。例えば、やる気、忍耐力、協調性、自制心などがそれに当たります。非認知能力は、①自分の目標を目指して粘り強く取り組む②そのためにやり方を調整し工夫する③友達と同じ目標に向けて協力し合う。この3つが柱となっていますが、前述の活動は、これら全てに当てはまると思われます。また、非認知能力が高い人は、自己の強みや弱みを理解し、自己評価が適切であり、自己成長に対する意欲が高いことが特徴と言われます。令和6年度もラストスパートに差し掛かってきました。子どもたちが成長するための活動は、継続的に行う必要があります。充実した締めくくりを迎えるためにも、適切な指導と支援を心掛け、「よく学び、明るくやり抜く双岩っ子の育成」に努めます。御協力のほどよろしくお願いたします。
 （文責：後藤 敏夫）

2月行事予定

★ ICT支援員来校日

日	曜	行 事	給食
1	土	やわたはままるごとアート展（～11日）	—
2	日		—
3	月	10分間集中テスト（～28日までの間に実施）3年～6年 委員会	○
4	火	代表委員会	○
5	水	校内研修	○
6	木		○
7	金	標準学力検査 ②国③算	○
8	土		—
9	日		—
10	月	卒業写真撮影（予備日17日）クラブ⑥	○
11	火	建国記念の日	—
12	水	中学校入学説明会 14:00	○
13	木	新入児体験入学 13:30	○
14	金	プレジョブチャレ「夢Workフェスタ」6年 校納金 ★	○
15	土	市人権・同和教育研究大会	—
16	日		—
17	月	ALT訪問	○
18	火	参観日 授業参観 13:30 PTA役員・学級役員選出 14:25	○
19	水		○
20	木	水曜校時 職員会 校内研修	○
21	金	児童会役員選挙・演説	○
22	土		—
23	日	天皇誕生日	—
24	月	振替休日	—
25	火		○
26	水	校内研修（ICT研修） ★	○
27	木	PTA役員会	○
28	金	現地学習会（6年）13:30	○

【3月の主な行事等】

- ・ お別れ遠足（5日） ・ 卒業証書授与式（24日）
- ・ 修業式（25日） ・ PTA会計監査（26日）
- ・ 離任式（28日）